

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL <a href="http://cleanup.jp/">http://cleanup.jp/</a>
単元株式数	100株

【株式に関するお手続きについて】

- 証券会社等の口座に記録された株式  
株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式  
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。

- 未受領の配当金  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。

【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】

三菱UFJ信託銀行株式会社

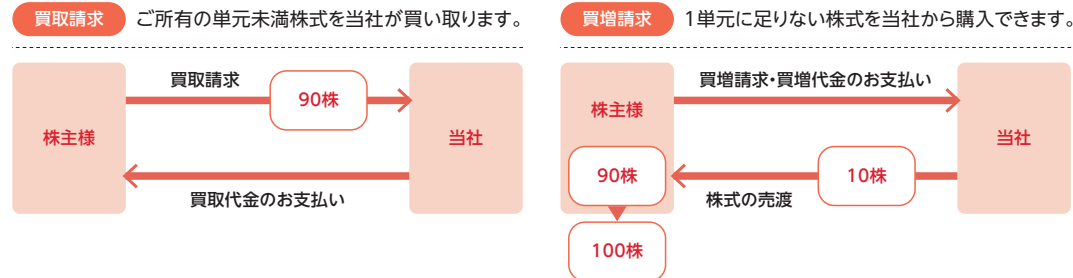
【同連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話:0120-232-711(通話料無料)  
郵送先:〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せください。

(例)株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せください。



キッチンから、笑顔をつくろう

# 株主の皆さまへ

## 第65期 第2四半期 報告書

2017年4月1日から 2017年9月30日まで



## 株主の皆さまへ

## キッチン専業メーカーとして、次のステージを目指す

代表取締役会長  
井上 強一代表取締役  
社長執行役員  
佐藤 茂

## ■ 企業理念

家族の笑顔を創ります

## ■ 行動理念

私たちは、心豊かな食・住文化を創ります

私たちは、公正で誠実な企業活動を買きます

私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

## 厳しい事業環境により、減収減益となりました。

事業環境は依然として厳しい状況にあります。新設住宅着工戸数は、2017年2月以降伸び悩みが続いており、リフォーム需要についても盛り上がり欠ける状況で推移しています。

そうした中、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は前年同期比6.5%減となり、営業利益は、原価率の低減や販管費の削減に努めたものの減収がひびき、同51.6%減と大幅な営業減益を余儀なくされました。

こうした状況を受け、通期の連結業績見通しにつきましては、当初予想を下方修正させていただき、前期比3.0%の減収、29.6%の営業減益となる見込みです。減収減益幅を少しでも小さくできるよう、引き続き積極的な営業活動と、更なる原価低減、コスト削減に努めてまいります。

## 当期は、中期経営計画の最終年度として、「基盤改革」をやり遂げてまいります。

当社は、3か年の中期経営計画「15中計」を推し進めております。経営課題として主に「付加価値(収益)重視経営へ向けた変革」を掲げ、「収益構造の変革」と「経営基盤の進化」に取り組んでおります。最終年度となる当期(2018年3月期)は、その総仕上げをしていきたいと考えております。

当期を含め、中計3年間における重点施策は、「中高級品の販売強化」、「リフォーム市場で競争優位となる商品の開発」、「ショールームを核とした販売戦略の推進」の3つです。

「中高級品の販売強化」については、その基礎となる商品開発に注力し続けております。2015年に中高級ブランド「クリンレディ」をフルモデルチェンジ、2016年に最高級ブランド「S.S.」と

普及価格帯ブランド「ラクエラ」をリニューアル、2017年にはコンパクトキッチン「コルティ」をリニューアルするなど、キッチン専業メーカーとしてのこだわりを各ブランドに注ぎ続けております。こうした持続的な取り組みが評価され、当社は、「リフォーム大賞」においてキッチン3グレードすべて3年連続1位を獲得しました(詳細はP4参照)。

「リフォーム市場での競争優位となる商品の開発」については、システムキッチンを中心に据えながら、システムバスルーム、洗面化粧台など水まわり製品の総合的な品揃え強化を図っております(2017年の取り組み事例はP5参照)。

「ショールームを核とした販売戦略の推進」については、ショールームの魅力向上に継続的に努めております。ハード面では、ショールームの積極的なリニューアルを展開し、ソフト面では、充実した施設・設備を最大活用した各種イベントの実施など、地域

密着型の提案活動に力を入れています。当期は、マンションリフォームに焦点を当てた都市型ショールームの新設や、ショールームアドバイザーへのライセンスバッジ着用など、新たなチャレンジもスタートしています(詳細はP3)。

## 次のステージを目指してまいります。

クリナップは、創業以来、キッチン専業メーカーとして歩み続けてまいりました。そして次期中期経営計画期間には創業70周年という大きな節目を迎えます。

株主の皆さまには、現在の厳しい事業環境を乗り越え、次のステージを目指すクリナップの今後の取り組みに、ご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

ブランドの価値向上を目指して  
番組提供型TVCM「ART、ステンレス編」を放映開始

クリナップは、創業68周年を迎え、更なるブランド価値向上を目的に、番組提供型TVCM「ART、ステンレス編」を10月7日から放映開始しました。

当社商品の特徴であり、強みである「ステンレスキャビネット」の耐久性と美しさを、世界一流のステンレスアートをモチーフに、名曲「昴」の旋律に乗せて直感的かつダイナミックにお伝えしています。

▶ CMIはホームページからもご覧いただけます

<http://cleanup.jp/cm/>

▶ 提供番組はホームページをご覧ください

<https://cleanup.jp/topics/374.shtml>

2017年  
10月7日～

「シカゴの前庭」と呼ばれるミレニアムパーク内にある巨大ステンレスアート(米国シカゴ)

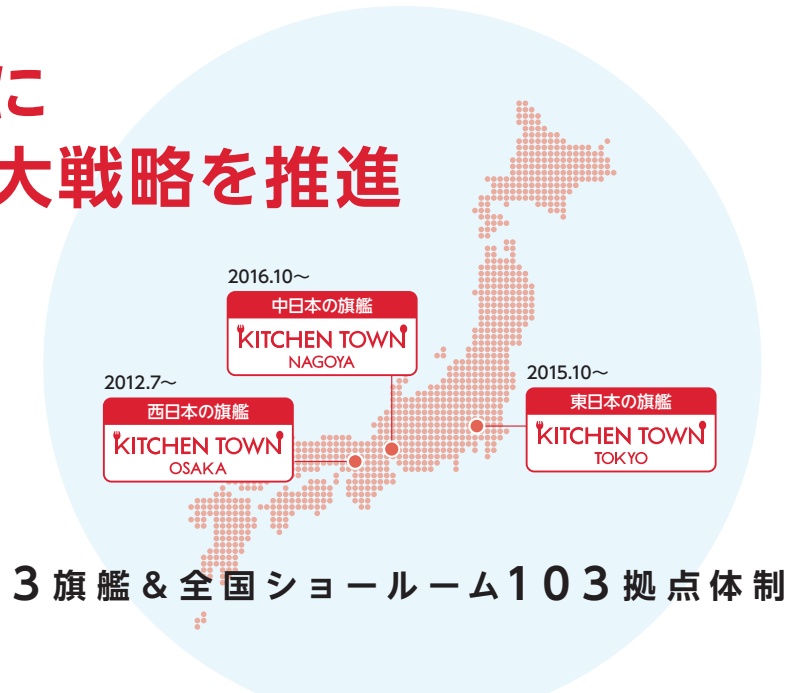
アニッシュ・カプア氏による「クラウド・ゲート」

## 特集: クリナップのリフォーム事業への取り組み

# ショールームを核に リフォーム事業拡大戦略を推進

当社は、今後の中長期的なリフォーム市場の拡大を睨み、顧客接点強化と生活価値提案の充実を図ることを目的に、全国ショールームの魅力アップに努めています。

毎年多くのショールームをリニューアルすると共に、東・名・阪に3つの旗艦ショールームを誕生させ、地域密着型の展開を進めてきました。



## 3 旗艦 & 全国ショールーム103 拠点体制

### ■ ショールームにおける新たな取り組み

#### 取り組み 1 新タイプのショールームがオープン

NEW

### 103拠点目 誕生 都市型ショールーム

マンションリフォームに焦点を当てた都市型ショールームが東京都江戸川区にオープンしました。

大規模都市開発や生活利便施設の供給が進む江戸川臨海地区の地域特性に合わせた商品展示や暮らし方提案を行っていきます。



9月15日にオープンした江戸川ショールーム

#### 取り組み 2 ライセンスバッジの着用を開始

ショールームアドバイザー423名が、各自の保有資格を示すライセンスバッジの着用を開始し、システムキッチン専業メーカーとしての知識を「見える化」しました。



## The Kitchen Company

システムキッチン3グレードすべてにおいて  
**3年連続「リフォーム大賞」を受賞**



Stainless Cabinet Kitchen

クリンレディ

rakuera  
ラクエラ

高級価格帯「S.S.」、中級価格帯「クリンレディ」、普及価格帯「ラクエラ」。

営業マン、プランナー400人が選ぶベスト設備リフォーム大賞2017で、3グレードすべてにおいてクリナップの製品が選ばれ、3年連続で3冠を達成しました。「S.S.」においては、他社製品と比べ機能性が高く評価されました。

#### クリナップのキッチンが支持される理由とは?



#### ステンレスへのこだわり

ワークトップだけでなくキャビネットまで、ステンレスでつくりあげているため、丈夫で汚れやニオイが染み込まず、清潔さをキープ。



#### 流レールシンク

調理作業で使う水がシンクに落ちたゴミを水路に押し流して排水口まで運んでくれるからお手入れの手間を軽減。



#### 洗エールレンジフード

タンクにお湯をセットしてスイッチを入れるだけで、フィルターを自動洗浄。使用水量も0.65ℓと少なく洗剤いらす。

リフォーム大賞  
とは?

リフォーム営業マン・プランナーの投票によって選ばれた商品を表彰するアワード。年に1回リフォーム産業新聞社で調査を実施している。《最も売りたい、提案したいと思うリフォーム商品》を選出。5段階評価でポイントを加算し、獲得ポイントの多い商品からランキング形式で発表している。[リフォーム産業新聞社より]

## 主なトピックス

### 商品リニューアル

2017.9.1  
受注開始

もっと楽しく、もっとオシャレに。  
システムバス「ユアシス」&コンパクトキッチン「コルティ」をリニューアル

バスルームに新発想の収納を提案「ユアシス」

システムバスルーム  
**yuasis**  
ユアシス



一番の注目アイテムは、キッチン収納のゾーンコンセプトから発想を得た収納提案「**スタイルシェルフ**」です。

トレンドを意識し扉色を刷新「新・コルティ」

コンパクトキッチン  
**colty**  
コルティ



「カフェ風スタイル」に合う**ラスティック**（素朴な、田舎風な）**テイスト**の木目扉は、コンパクトキッチン市場初の試みです。

### 超高級市場への進出

バルクチャーネ  
**Valcucine**

イタリアのキッチンメーカーと取引契約を締結

当社は、世界54カ国で革新的且つ、環境にやさしいキッチンメーカーとして有名なイタリアのValcucine社と取引契約を締結いたしました。

今回の提携は、日本国内のハウスメーカー・デベロッパーにおける超高級市場への足掛かりとして取り組むものです。年度内に、東京都市圏を中心としたValcucineブランドキッチンの取扱いと、東京で最初のValcucineショールームを南青山にオープン予定です。



「Artematica」(アルテマティカ)



「Genius Loci」(ジーニアスロッツ)

Valcucine社公式サイト ▶ <http://www.valcucine.com/>

## クリナップのCSR活動

### 社会福祉活動

「掃除が簡単」「調理肩が勝手に集まる!」と大好評!  
視覚障がい者向けキッチンセミナー開催

4月23日にキッチンタウン・東京にて視覚障がい者向けのキッチンセミナーを開催しました。目の不自由な方に向けての情報提供の場として、最新システムキッチンやシステムバスルームを紹介し約60名の視覚障がい者・補助者の皆さまに参加いただきました。実際に「クリンレディ」と「S.S.」を使い、「流レールシンク」や「洗エールレンジフード」などを紹介。参加者の皆さまに手で触れた体感を通して、好評をいただきました。



手で触れながらシンクの傾斜と「流レール」を確認



洗エールレンジフードの掃除方法を紹介

### 復興支援活動

いわき市立四倉小学校の5年生を招待  
福島県いわき市で工場見学会開催

8月4日に当社の生産拠点である福島県いわき市内の小学生を招待し、工場見学会を実施しました。この見学会は「土曜学習」との名称で、いわき市の各地区にある公民館が主催となり、地域社会の活性化を図ることを目的に開催されているイベントです。

当社では小学生を対象とした工場見学会は初の試みで、児童からは「将来自分もクリナップで働きたい」と嬉しい言葉も飛び交い、短い時間でしたが子どもたちの夏休みの良い思い出づくりにもなりました。



生産工程を真剣な表情で見学する小学生



### スポーツ振興

レスリング「2017年世界選手権」で鈴木博恵選手が銅メダルを獲得!

当社が運営する、レスリング部の鈴木博恵選手(女子75kg級)が、8月21日から26日にかけてフランス・パリで開催された「2017年世界選手権」に出場し、銅メダルを獲得しました。

自身4度目の出場となる世界選手権で、初めてメダルを手にした鈴木選手は試合後、「今までの自分の想いがいっぱい詰まった重いメダルです」とコメントしました。



銅メダルを手に笑顔の鈴木(右から2番目)



気持ちを切り替えて臨んだ敗者復活戦(青:鈴木選手)



## 連結ハイライト情報／連結部門別情報

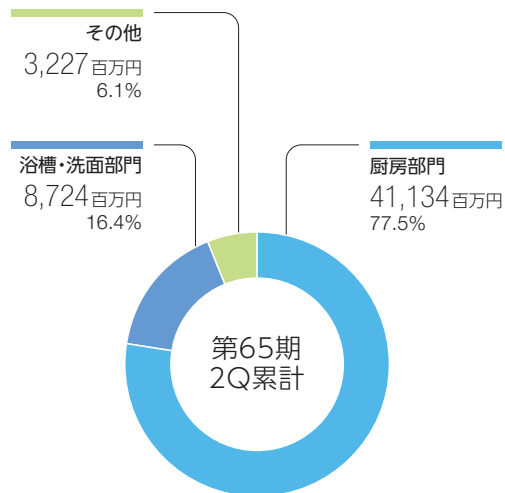
### ■ 連結財務ハイライト

(百万円)

	第63期2Q累計 2016年3月期2Q累計	第63期 2016年3月期	第64期2Q累計 2017年3月期2Q累計	第64期 2017年3月期	第65期2Q累計 2018年3月期2Q累計
売上高	56,393	114,445	56,747	113,661	<b>53,085</b>
営業利益	398	1,129	1,242	1,989	<b>601</b>
経常利益	276	867	1,153	1,795	<b>626</b>
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	83	340	935	1,339	<b>316</b>
総資産	86,371	85,871	85,900	84,369	<b>86,880</b>
純資産	56,051	55,773	56,151	52,615	<b>53,005</b>

### ■ 部門別売上高(連結)

(百万円)



	第64期2Q累計 2017年3月期2Q累計	第64期 2017年3月期	第65期2Q累計 2018年3月期2Q累計
厨房部門	44,184	89,336	<b>41,134</b>
浴槽・洗面部門	9,463	17,976	<b>8,724</b>
その他	3,099	6,348	<b>3,227</b>
合計	56,747	113,661	<b>53,085</b>

#### 厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」、中・高級品クラスの「クリンレディ」、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

#### 浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「ユアシス」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。

### ■ 第65期第2四半期連結累計期間の営業概況

#### 市場環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善が見られる一方、個人消費の伸び悩みは継続し、依然として不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数の伸びが鈍くなったのに加え、リフォーム市場の低迷が続ぎ、厳しい状況となりました。

#### 業績・成果

このような中、当社グループは、『流レールシンク』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」や「クリンレディ」、2017年9月に収納提案「スタイルシェルフ」を搭載して新発売したシステムバスルーム「ユアシス」、インテリアトレンドに合わせるため扉色を刷新したコンパクトキッチン「コルティ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るため、2017年9月に首都圏リフォームに重点を置いた江戸川ショールームを新設いたしました。また、全国103カ所となったショールームにてイベントを開催し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続き、東西の生産拠点での生産性向上、VE活動(\*)を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.5%減の530億85百万円となりました。利益面では営業利益は同51.6%減の6億1百万円、経常利益は同45.7%減の6億26百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同66.2%減の3億16百万円となりました。

#### \*VE活動

VE(Value Engineering)は、商品・サービスの期待される機能・価格を最低コストで確実に達成するための技術であり、VE活動は生産の現場におけるVE実現に向けた取り組み。

#### 部門別の状況

厨房部門の売上高は前年同期比6.9%減の411億34百万円となりました。

浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比7.8%減の87億24百万円となりました。

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

**流動資産** 流動資産は前期末比3億6百万円増加し、538億4百万円となりました。これは電子記録債権が25億93百万円、商品及び製品が8億77百万円増加した一方、現金及び預金が4億22百万円、受取手形及び売掛金が21億80百万円、有価証券が4億98百万円減少したこと等によります。

**固定資産** 固定資産は前期末比22億5百万円増加し、330億75百万円となりました。これは主にリース資産の増加によって有形固定資産が11億38百万円増加、投資その他の資産が11億83百万円増加したこと等によります。

**資産合計** 総資産は前期末比25億11百万円増加し、868億80百万円となりました。

	第64期2Q 2016年9月30日現在	第65期2Q 2017年9月30日現在	第64期 2017年3月31日現在
(資産の部)			
<b>流動資産</b>	<b>55,017</b>	<b>53,804</b>	<b>53,498</b>
現金及び預金	20,645	20,473	20,896
受取手形及び売掛金	18,531	15,540	17,720
電子記録債権	7,865	11,288	8,694
その他	7,979	6,501	6,187
貸倒引当金	△ 4	—	△ 4
<b>固定資産</b>	<b>30,882</b>	<b>33,075</b>	<b>30,870</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>22,017</b>	<b>22,395</b>	<b>21,257</b>
建物及び構築物	9,047	8,801	8,911
その他	12,969	13,593	12,346
<b>無形固定資産</b>	<b>2,737</b>	<b>2,714</b>	<b>2,830</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,128</b>	<b>7,965</b>	<b>6,782</b>
投資有価証券	3,492	5,202	4,119
その他	2,690	2,816	2,717
貸倒引当金	△ 54	△ 52	△ 54
<b>資産合計</b>	<b>85,900</b>	<b>86,880</b>	<b>84,369</b>

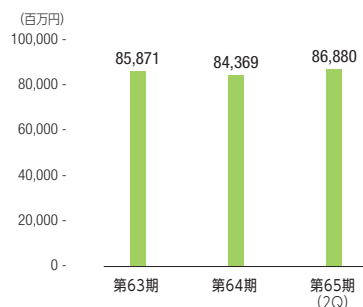
	第64期2Q 2016年9月30日現在	第65期2Q 2017年9月30日現在	第64期 2017年3月31日現在
(負債の部)			
<b>流動負債</b>	<b>23,761</b>	<b>25,449</b>	<b>23,282</b>
買掛金	6,644	6,275	6,557
厚生年金基金解散損失引当金	21	—	—
その他	17,095	19,173	16,720
<b>固定負債</b>	<b>5,987</b>	<b>8,426</b>	<b>8,470</b>
長期借入金	1,894	2,493	3,962
退職給付に係る負債	931	920	1,081
役員退職慰労引当金	416	416	416
その他	2,744	4,594	3,008
<b>負債合計</b>	<b>29,749</b>	<b>33,875</b>	<b>31,753</b>
(純資産の部)			
<b>株主資本</b>	<b>54,715</b>	<b>50,844</b>	<b>50,897</b>
資本金	13,267	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351	12,351
利益剰余金	29,406	25,912	29,391
自己株式	△ 309	△ 686	△ 4,113
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,435</b>	<b>2,160</b>	<b>1,718</b>
その他有価証券評価差額金	832	1,693	1,264
為替換算調整勘定	△ 10	22	35
退職給付に係る調整累計額	613	444	418
<b>純資産合計</b>	<b>56,151</b>	<b>53,005</b>	<b>52,615</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>85,900</b>	<b>86,880</b>	<b>84,369</b>

**流動負債** 流動負債は前期末比21億66百万円増加し、254億49百万円となりました。これは短期借入金が14億69百万円、電子記録債務が8億63百万円増加した一方、買掛金が2億82百万円減少したこと等によります。

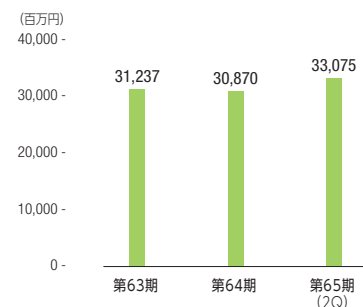
**固定負債** 固定負債は前期末比44百万円減少し、84億26百万円となりました。これは主にリース債務(固定負債その他)の増加13億32百万円と長期借入金の減少14億68百万円等によります。

**純資産合計** 純資産合計は前期末比3億89百万円増加し、530億5百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益3億16百万円、配当金の支払い3億68百万円、その他有価証券評価差額金の増加4億29百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末の62.4%から61.0%になりました。

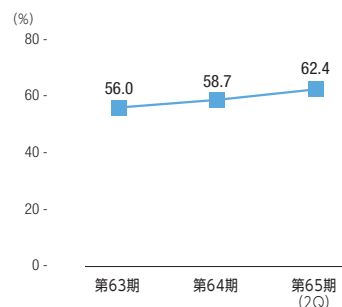
### ■ 資産合計



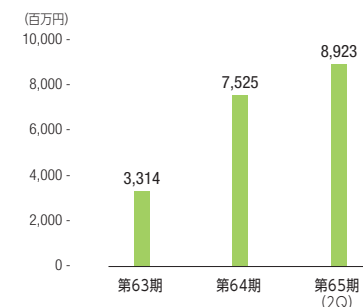
### ■ 固定資産



### ■ 固定比率

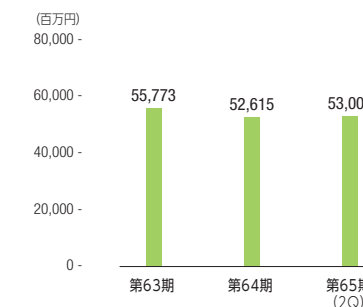


### ■ 有利子負債

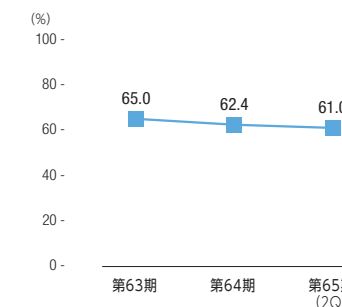


※有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、リース債務の合計。

### ■ 純資産合計



### ■ 自己資本比率



# 連結財務諸表



**売上高** 付加価値の高い商品の開発・供給、ショールームを起点とした価値提供強化と販売活動などに努めたものの、新設住宅着工戸数の伸びが鈍くなったのに加え、リフォーム市場の低迷が続いたことから、売上高は前年同期比6.5%減の530億85百万円となりました。

**売上原価** EV活動の推進など、原価低減に努めた結果、売上原価率が前年同期比0.6ポイント低下し66.2%となりました。

**販管費** 新商品の開発や販売体制の強化、拡販活動等を積極的に行う中、経費節減や生産性の向上等に努めた結果、販管費は前年同期比2億99百万円減少しました。また、販管費率は同1.6ポイント上昇し32.6%となりました。

**営業利益** 減収に加え、販管費率の上昇により、営業利益は前年同期比51.6%減の6億1百万円となりました。

**親会社株主に帰属する四半期純利益** 親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の大幅な減少を受けて、66.2%減の3億16百万円となりました。

## ■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨

(百万円)

	第64期2Q累計	第65期2Q累計	第64期
	2016年4月 1日～ 2016年9月30日	2017年4月 1日～ 2017年9月30日	2016年4月 1日～ 2017年3月31日
<b>(連結損益計算書)</b>			
売上高	56,747	53,085	113,661
売上原価	37,885	35,164	76,687
売上総利益	18,862	17,921	36,974
販売費及び一般管理費	17,619	17,320	34,985
営業利益	1,242	601	1,989
営業外収益	291	296	548
営業外費用	380	271	742
経常利益	1,153	626	1,795
特別利益	312	171	320
特別損失	27	196	104
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,438	601	2,011
法人税等	503	285	671
四半期(当期)純利益	935	316	1,339
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	935	316	1,339
<b>(連結包括利益計算書)</b>			
四半期(当期)純利益	935	316	1,339
その他の包括利益	△ 139	442	143
四半期包括利益(包括利益)	796	758	1,483

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(百万円)

	第64期2Q累計	第65期2Q累計	第64期
	2016年4月 1日～ 2016年9月30日	2017年4月 1日～ 2017年9月30日	2016年4月 1日～ 2017年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,608	1,317	3,685
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,458	△ 1,763	△ 3,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	288	△ 463	△ 492
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	△ 13	△ 60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	347	△ 922	84
現金及び現金同等物の期首残高	21,811	21,896	21,811
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	22,159	20,973	21,896

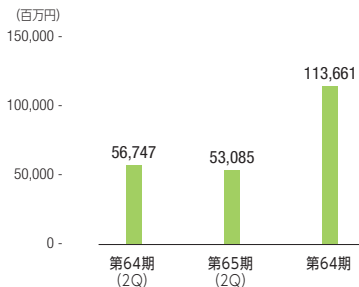
**営業活動によるキャッシュ・フロー**  
営業活動の結果得られた資金は13億17百万円(前年同期比18.1%減)となりました。これは税金等調整前四半期純利益が6億1百万円、減価償却費が17億3百万円、仕入債務の増加5億82百万円があった一方、たな卸資産の増加9億45百万円、法人税等の支払額3億54百万円があったこと等によるものです。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**  
投資活動の結果使用した資金は17億63百万円(前年同期比20.9%増)となりました。これは生産設備の改修、ショールーム移転・改装等により有形固定資産の取得による支出が8億69百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が4億35百万円、投資有価証券の取得による支出が5億2百万円あったこと等によるものです。

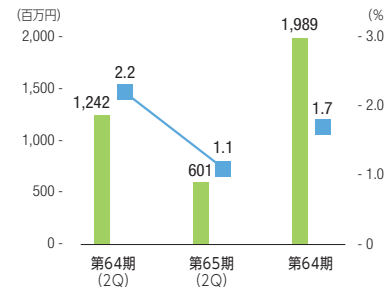
**財務活動によるキャッシュ・フロー**  
財務活動の結果使用した資金は4億63百万円(前年同期は2億88百万円の獲得)となりました。これは長期借入金の返済による支出が17億99百万円、配当金の支払いが3億68百万円あった一方、短期借入れによる収入が18億円あったこと等によるものです。

**現金及び現金同等物の四半期末残高**  
現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末に比べ9億22百万円減少して209億73百万円となりました。

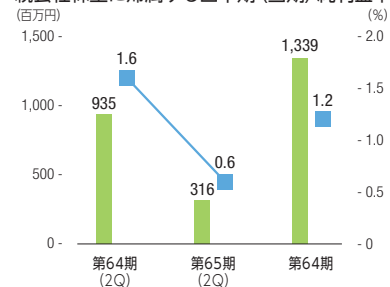
### ■ 売上高



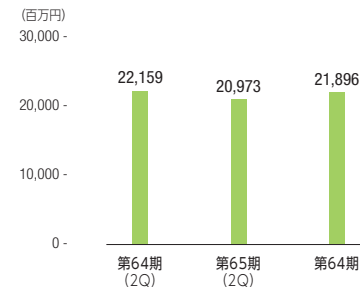
### ■ 営業利益・営業利益率



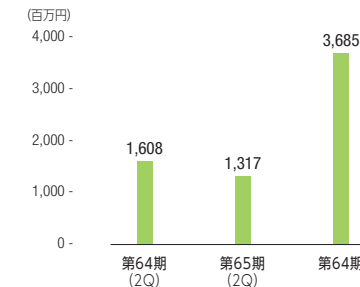
### ■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益率



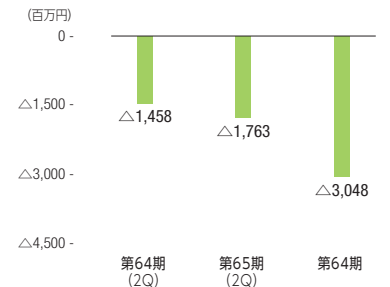
### ■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



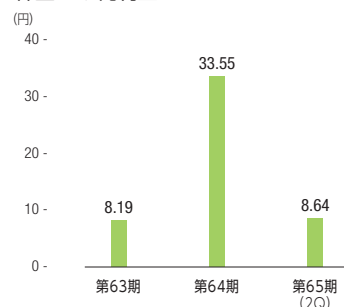
## 株主関連情報 (2017年9月30日現在)

## ■ 剰余金の配当について

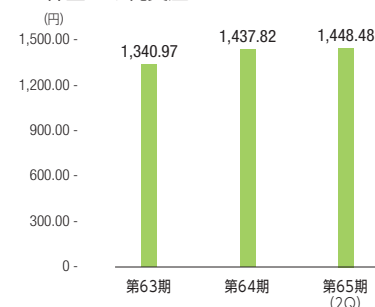
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つとして考えており、配当につきましては、収益の状況及び将来の事業展開を勘案し安定的な配当の継続を基本として、決定しております。

以上の方針に基づき、中間配当金は、1株当たり10円とさせていただきます。また、当期の年間配当金は、中間配当を含め1株当たり20円を予定しております。

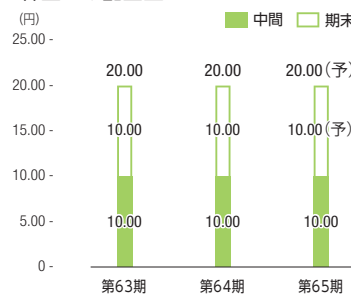
## ■ 1株当たり純利益



## ■ 1株当たり純資産

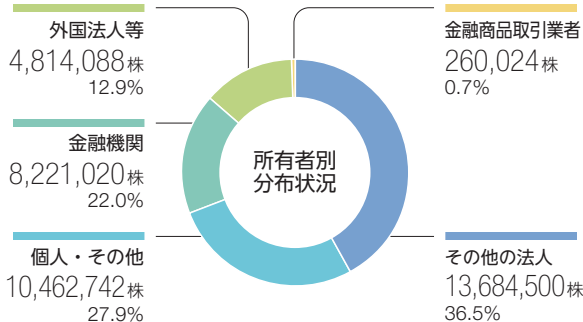


## ■ 1株当たり配当金



## ■ 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 130,000,000 株  
発行済株式総数 ..... 37,442,374 株  
株主数 ..... 3,781 名



## ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社井上	8,609	23.3
クリナップ真栄会	1,922	5.2
株式会社タカヤス	1,829	4.9
クリナップ社員持株会	1,686	4.5
クリナップ共進会	1,664	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,258	3.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,215	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	757	2.0
三菱UFJ信託銀行株式会社	693	1.8
GOVERNMENT OF NORWAY	657	1.7

注) 持株比率は、「株式付与ESOP信託口」が保有する自己株式(297,960株)を除いた自己株式(550,577株)を控除して計算しております。

## 会社情報 (2017年9月30日現在)

## ■ 会社概要

商号 クリナップ株式会社  
Cleanup Corporation  
本社所在地 〒116-8587  
東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号  
電話 03-3894-4771(大代表)  
創業 1949年10月5日  
会社設立 1954年10月5日  
上場 1990年2月6日 東証2部上場  
1991年9月2日 東証1部指定  
資本金 132億6,734万円  
主要営業品目 厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他  
社員数 連結：3,611名/単体：3,014名  
主な事業所 支社：国内3カ所  
支店：国内4カ所  
営業所：国内132カ所  
海外：香港、北京、台湾、上海  
工場：四倉、鹿島システム、湯本、クレート、鹿島  
(いずれも福島県いわき市)  
岡山(岡山県勝田郡)  
津山(岡山県津山市)

## ■ ショールーム/全国103カ所

北海道支店ブロック 4カ所 中部支社ブロック 12カ所  
東北支店ブロック 13カ所 関西支社ブロック 26カ所  
東京支社ブロック 29カ所 九州支店ブロック 12カ所  
上信越支店ブロック 7カ所

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

※ 株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。  
また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

## ■ 役員

代表取締役会長	井上 強一	取締役	川崎 享※
代表取締役社長執行役員	佐藤 茂	取締役	千代田有子※
取締役副社長執行役員	小島 輝夫	常勤監査役	山根 康正
取締役専務執行役員	藤本 眞一	常勤監査役	山本 幸男
取締役専務執行役員	島崎 憲夫	監査役	新谷 謙一※
取締役専務執行役員	山田 雅二	監査役	有賀 文宣※
取締役専務執行役員	竹内 宏		

※は社外

